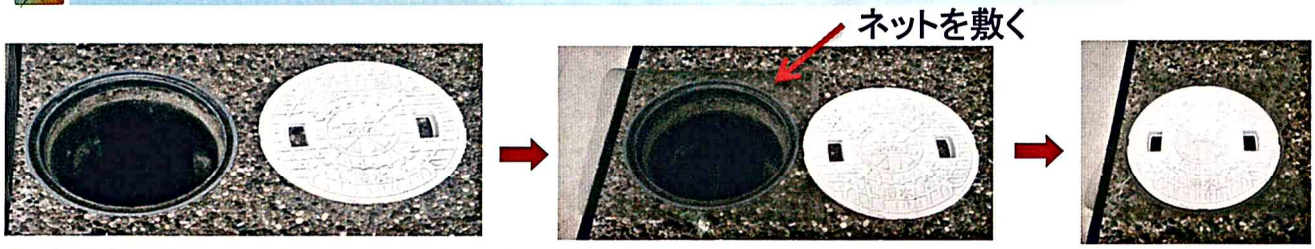
蚊の発生源対策

水のたまり場所がボウフラの発生源となります

バケツ、ブルーシート、スコップ、容器、空き缶、ジョーロ、植木鉢の受け皿、タイヤ、空き箱、雨水ます

庭に水たまりが無いか、１週間に１回は点検してください。水たまりがあれば、水を排出するか、入れ替えてください。（魚のいる池ではあまり発生しません。）
雨水によって、水が溜まりやすい物は、あらかじめ片付けておきましょう。

雨水ます対策の例



雨水ますの場合、網戸などの目の細かなネットを敷いてフタをしておくと、発生を抑えます。

成虫蚊対策

網戸を閉めて屋内への侵入をふせぎましょう。
植込み等の剪定をして、風通しを良くし、潜み場所をなくしましょう。
蚊の多い場所では、長袖・長ズボンを着用し、肌の露出を控える。
必要に応じて殺虫剤や忌避剤を使用する。
※殺虫剤や忌避剤は、用法用量を確認の上、ご使用ください。

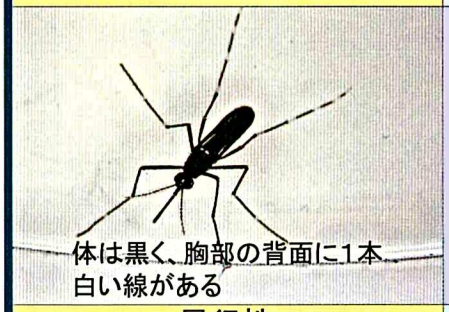
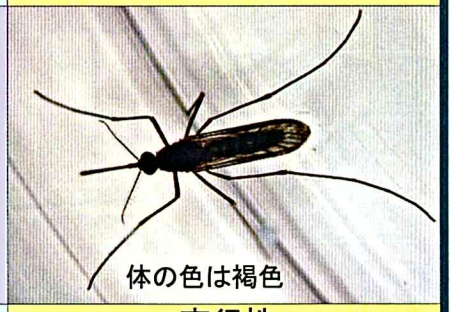
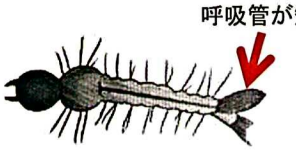
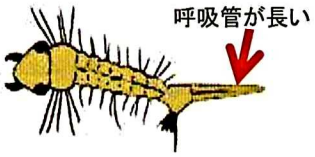
蚊対策を始めましょう！！

2014年8月に約70年ぶりにデング熱の国内感染が確認されました。蚊がこのような感染症を媒介する事をご存知でしょうか？

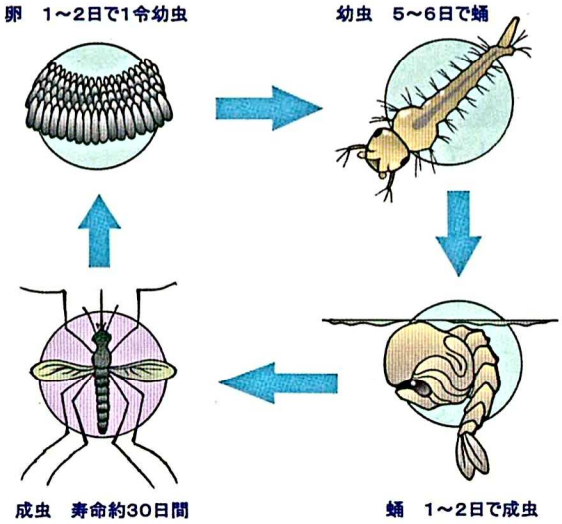
身近な存在の蚊！　国内には多くの種類の蚊が生息していますが、その中でも、街中で見かける代表的なものが、ヒトスジシマカとアカイエカです。

感染症の予防と蚊の少ない快適な生活環境づくりを心がけましょう。

ヒトスジシマカとアカイエカの生態を見てみましょう！！

ヒトスジシマカ	属　性	アカイエカ
ヤブカ属		イエカ属
 体は黒く、胸部の背面に1本白い線がある	成　虫	 体の色は褐色
昼行性 （主に日中に吸血します）	活　動	夜行性 （主に夜間に吸血します）
待ち伏せ型 （植込みなどに潜んでいます）	習　性	移動型 （吸血対象を探して移動します）
50m～100m	移動距離	1km～10km
デング熱 チクングニア熱	媒介感染症	ウエストナイル熱 日本脳炎（コガタアカイエカ）
 呼吸管が短い	幼　虫 （ボウフラ） 水中でサナギにまで成長します	 呼吸管が長い

蚊のライフサイクル



卵	1度の産卵で50～100個 水中に生み、1～2日でふ化します。
幼　虫 （ボウフラ）	水中で4回脱皮し、5～6日で サナギになります。
サナギ	水中内で2日ほど過ごした後 成虫になります。
成　虫	水面から離れ、約1ヶ月ほど生存し 3～4回産卵します。